

PSG 第13回ワークショップ『看護学研究最前線』に関する質問について

振り返りアンケートの質問への鈴木はるのさんからの答えはこちらです。

熱心なご参加ありがとうございました！

- Q. アプリなどを使用できる方の年齢格差など良く理解できました。アメリカに比べて日本の介護に関しては、これからの可能性を考えることができる機会になりました。京都市では、老人福祉委員というボランティア活動もあります。支援できる機会にできることを教えていただけると嬉しいです。

A. ご質問ありがとうございます。老人福祉委員とは、自治会や町内会の単位で活動し、地域に住む高齢者を身近な立場から見守るボランティアの方々を指します。無理のない範囲で地域の高齢者の方が生活の中での困りごとを抱えていないか見守っていただけると良いかもしれません。また、支援が必要そうな方を見かけた場合は、お近くの「地域包括支援センター」にご相談いただくと、医療や介護の専門家につなげることができます。こうした活動は、地域のつながりを深め、高齢者の方々が安心して暮らせるまちづくりにもつながります。

- Q. UC サンフランシスコ校についてもっと教えてください。

A. 私が在籍しているカリフォルニア大学サンフランシスコ校（University of California, San Francisco：UCSF）は、アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコ市にある医療科学分野に特化した大学院大学です。医学、歯学、薬学、看護学の4学部を有し、これまでに山中伸弥教授をはじめとする複数のノーベル賞受賞者を輩出しています。UCSFは、アメリカ国立衛生研究所（NIH）からの研究費獲得額が2024年に公立大学の中で全米第1位となるなど、基礎医学を中心に世界トップレベルの研究が行われています。